

セッション4「今、『生物』の再定義は必要か？」事前アンケートのお願い

「細胞を創る」研究会 3.0 で開催予定の社会・文化系セッションに対する事前アンケートにご協力いただけると幸いです。オープンディスカッションで皆様のご意見を基点に話題を展開する予定です。なおこのセッションは、下記のコンセプトに基づき企画しました。ご意見やアドバイスもいただけると幸いです。

アンケートは下記 URL より、お答えください。皆様の意見を参考に、セッションを作っていきたいと思っています。

<https://www.e-miraikan.jp/form/csr2010oct/>

■セッションタイトル&コンセプト

今、『生物』の再定義は必要か？

化学合成したゲノムから生まれた細菌、不気味の谷を越えたヒューマノイドロボット、太陽系外惑星に息づく新たな生命との出会い。40億年の歴史を越えて、地球上に営々と育まれてきた生物の定義は、21世紀の先端科学が拓く新たな世界でも通用するのでしょうか。科学技術が迫りつつある生命の先端を共有し、生物をどう定義するかを議論することで、現代に生きる私たちの生命観を問い直してみたいと思います。

■開催概要

日時：

11月13日(土) 14:30-16:10

プログラム：

講演1 大阪大学教授・ATRフェロー 石黒浩氏

「ロボットに感じる生命ーアンドロイド研究が捉える生命の感触」

講演2 早稲田大学政治学研究科 ジャーナリズムコース准教授 田中幹人氏

「メディア空間の生命観 ～『生命』の定義を媒介する枠組みの現在」

オープンディスカッション

セッションオーガナイザー:橋本裕子(日本科学未来館)